

公表日

令和7年3月20日

事業所名

こぼんはうすくら 富士宮教室

保護者等数(児童数) 31名(34名)

回収数 29件(割合94%)

		チェック項目	評価				ご意見	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	5	0	5	・教室に何人位いるのかによって変わると思う。 ・利用人数が多いような気がする。	活動内容や利用者数により使用する部屋やスペースを考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2	0	8	・活動中を見たことがないので何人の職員がいるのか分からない。 ・駐車場が満車になりそうな日は外で誘導をお願いしたい。 ・たまに看護師が不在の時間があるので、できるだけ常時いるようにしてほしい。	お子様の自立・成長を目指して、適切な職員数を配置していきます。安全第一に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4	0	6	・壁に手すりがあると嬉しい。 ・歩けない子の場合、階段だと大変かもしれない。 ・段差や階段があるため少し移動するのが大変な時がある。	施設裏側にバリアフリーの出入口を設けてあります。今後も、お子様が使いやすいように環境整備を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	25	0	0	4	・いつもきれいに保っている。 ・靴下が毎日黒くなって帰ってくる。	毎日利用終了後に、床などを消毒液を用いて清掃しています。今後も、お子様が心地よく過ごせるように環境整備を行っていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	2	0	3	・リハビリの理学療法士が作業療法士がいてくれるとよい。 ・優しく寄り添ってくれていると思う。 ・子どものその日の体調を気にかけてくれていると思う。	お子様の特性を理解し、一人一人に応じたきめ細かな支援に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	2	0	1		支援内容を踏まえて支援プログラムを作成しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	2	0	1	・毎回しっかり話を聞いていただき、計画を作っていたらいい。 ・子どもの身体的状況に合わせて計画作成してくれている。	お子様や保護者様の意向を踏まえた個別支援計画の作成に努めています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	3	0	1		ガイドラインの支援内容を踏まえて支援目標や具体的な支援内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	3	0	0	・活動プログラムを無理なく支援してくれている。	お子様が楽しく、興味をもって取り組めるように工夫しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	3	11		児童館との交流などを行っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1	0	5		家族支援のためのペアレント・トレーニングは実施していませんが、個別支援計画の更新時以外にも随時保護者様の相談に応じています。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達 の状況について共通理解ができていますか。	26	3	0	0	・少しの変化があった時もすぐに伝えてもらっている。 ・迎えに行くとき必ずその日の様子を教えてくれる。 ・お迎えの時の連絡やリズムへの記載をありがとうございます。 ・お迎え時に必ず今日はどのような状況だったかを伝えてくれて分かりやすい。	お子様の良い所、がんばった所を具体的に にお伝えするように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	1	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	3	0	1		受容を第一にしてお子様の気持ちを受け止 めながら支援しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の 交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていま すか。	18	7	0	4	・放デイ利用になってからはイベ ントに参加できていない。	定期的に保護者参観や保護者交流会を開 催し、保護者同士が話す機会を設けていま す。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	23	4	0	2	・質問に対しては確認し、すぐに 返答をいただける。	お子様や保護者様から相談があった場合 には、迅速に丁寧に対応するように努め ています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされて いると思いますか。	24	4	0	1		送迎時に必要な情報をお伝えしていま す。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信されていますか。	24	2	0	3	・インスタグラムでフォローして いる。いつも見させてもらっている。	毎月お便りを発行し、インスタグラムで も随時情報を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	2	0	1	・職員によって職場外で内部の話 をする人や子どもの様子を話す人 がいる。	個人情報の取り扱いには十分に留意する ように職員に徹底していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯 マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知 ・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されて いますか。	28	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練が行われていますか。	27	0	0	2	・子どもにも理解できるように しっかりと訓練していただいでい る。	毎月防災訓練のプログラムを実施してい ます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知され る等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思 いますか。	27	0	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな 連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思 いますか。	25	1	0	3		怪我等が発生した場合には看護師が確認 し、必要に応じて保護者様に連絡してい ます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1	1	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	2	1	1	・朝から利用する時は泣くことが 多い。 ・非常に楽しんでいると思う。 ・子どもが機嫌よく帰ってくると 安心する。	お子様が楽しく通えるように活動内容を さらに工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	2	0	0	・おむつの持ち帰りシステムは何 とかならないのでしょうか。	保護者の皆様に満足していただけるよう にさらに努めていきます。

公表日

令和7年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら 富士宮教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	3		利用者様が活動しやすいように利用定員を設定していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	6		利用者様の自立と成長を目指し、活動内容や利用者数により配置する職員数を調整していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	3	机の配置を工夫してスペースを作り、利用者様が活動しやすいように工夫しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	2	朝と支援終了後に教室内の清掃及び整頓を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	2	クールダウンの部屋で利用者様が必要に応じて気持ちを落ち着かせることができるようにしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	2	全体会議において目標設定と振り返りを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	保護者様向け評価表から保護者様の意向を把握し、職員で改善策を話し合っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	全体会議や教室リーダー会議、教育リーダー会議、職員面談などで職員の意見を把握し、業務改善につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	14		第三者評価は行っていませんが、自己評価の結果をもとに業務改善を図っていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	1	全職員に研修の機会を設け、研修後には研修報告をしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	毎月保護者様に配付し、ホームページでも公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	月初と月末に支援者会議を開催し、直接支援に携わる職員からの情報を得ています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	アセスメントシートを活用して利用者様の行動観察を行い、日々の様子を記録しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	3	当番制でプログラムを考え、職員で確認しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	利用者様の興味や課題、季節に合わせて活動プログラムを考えています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	朝礼後に活動内容や役割分担を確認しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	2	終礼でその日にあったことを伝え合っています。	支援終了後または日を改めて支援に入った職員間で振り返りをするようにしていきます。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	14	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	2	利用者様が選択し、自分で考えられるような機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	1	教室担当の児発管がサービス担当者会議や関係機関との会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	3	保護者様を通して必要な情報を得ています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	0	保護者様を通して必要な情報を得ています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	14		現在は該当者がいませんが、該当者がいる場合には情報提供をしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14	0		児童発達支援センターとの連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	9	外出プログラムで児童館や公園などに出掛けています。	児童館との交流などを積極的に行っていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	2	地域自立支援協議会が主催する研修会等に積極的に参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	1	リズムでやり取りをしたり、自宅への送迎時に保護者様と話をしたりしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	1	個別支援計画の更新時以外にも随時保護者様の相談に応じています。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	契約時に運営規程等を説明しています。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	0		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	保護者様からの相談があれば丁寧に話を聞き、必要な助言と支援を行っています。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	保護者交流会を年2回開催しています。	
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	保護者様に苦情相談窓口を周知し、利用者様や保護者様から相談があれば、迅速かつ適切に対応するようにしています。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	0	毎月お便りを発行し、インスタグラムでも随時情報を発信しています。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報に関することは複数の職員で確認しています。	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	12		地域住民に参加していただく機会を検討していきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	2	各種マニュアルを策定し、研修・訓練を通して職員に周知しています。	職員が各種マニュアルについて理解を深め、実践につなげられるようにしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	2	防災訓練は毎月実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	食物アレルギーのある利用者様がいる場合には、保護者様に医師の指示書を提出していただき、それに基づいて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1	ヒヤリハットがあった場合には記録して、終礼や朝礼で共有しています。毎月の全体会議で事案の傾向を確認しています。	事例検討会で再発防止に向けた方策を話し合う機会を設けていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	年に1度職員研修を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0	契約時にどのような場合に身体拘束を行うかについて説明しています。	